

第11回企画展



根 利 山

足尾銅山を支えた

皇海山裾野に50000人の集落

すかいさんすその

【会期】令和3年3月4日(木)~4月4日(日)

【館長解説会】 定員は先着 10 人。

土曜日 3/6、13、20、27 午前 10 時から
日曜日 3/7、14、21、28 午後 2 時から

開館時間 午前 9 時 30 分~午後 5 時
休館日 3月10日、17日、19日、24日、31日
観覧料 一般 220 円 (団体 20 名以上 170 円)
中学生以下無料、障がいのある方と
付き添いの方 1 名無料
主催 沼田市歴史資料館 (テラス沼田 2 階)
連絡先 電話 0278-23-7565 FAX 0278-23-7566
住所 〒378-8501 沼田市下之町 888 テラス沼田 2 階
ナビ 〒378-0044 沼田市下之町 1018 (下之町駐車場)

第11回企画展

足尾銅山を支えた根利山―皇海山裾野に5000人の集落―

根利山ねりやまとは、沼田市利根町の皇海山山麓一帯の通称であり、かつて人々が四十年余に亘り生活を営み、最盛期には五千人を数えた集落跡の総称でもあります。

明治三十一年（一八九八）足尾銅山の木材資源の供給地として、古河鉱業の根利林業所が開設されました。銅山事業には木材資源が不可欠であり、足尾側の山々はたちまち切り尽くされました。そこで事業者の目は、尾根を越えた先にある根利山側へと向けられました。

根利山は砥沢、平滝といった幾つかの集落体に分かれていましたが、それらの地点を索道（空中ケーブル）で結びつけて生活していました。索道は木材運搬のみならず、五千人の生活物資を足尾から運ぶ生命線でもあり、その総延長は二万七千メートルもの距離を結んでいました。

根利山では宿舍のほか、様々な施設が整えられ、神社や寺院（説教所）、診療所、映画館なども設けられており、奥深い山の中にありながら、当時の文明の最先端が足尾から索道により入ってきたために、鉄道が牽かれていない沼田町よりも、はるかに文明の進んでいる場所でした。

明治四十二年（一九〇九）には、砥沢と平滝に古河鉱業の負担によって尋常小学校（群馬県利根郡東小学校の分校として）が設けられました。

昭和十四年（一九三九）根利山の森林を伐採し尽くし、多くの思い出をその地に残して閉山されました。その後昭和四十二年（一九六七）、根利山を故郷とした人々によって、「根利山会」が発足しましたが、徐々に語る者たちがいなくなり、平成十七年（二〇〇五）会は解散となりました。



砥沢の土場(明治40年頃)



盆踊り(昭和5年)



砥沢の倶楽部における義太夫



鉄索のロープ運搬(大正5年)